



孤児院内で夕食を皆で食べている様子！（カンボジア孤児院）

皆さまの御支援、いつもありがとうございます。

この巻頭言を執筆しているのが3月中旬なのですが、テレビ等では、東日本大震災の特集が報道されていました。また、日本の各地でも、この日を忘れないために、様々な行事が行われていました。

確かにこの出来事によって日本は大きく変わったところがあります。また、海外での働きを主としてきた私共「礎の石孤児院」にとって、日本にも児童養護施設（ファミリーホーム）の必要があると、認識した出来事でもあります。

その児童養護施設（ファミリーホーム）ですが、福島県郡山市での建設が本格的に始まろうとしています。建設費、設備費の全ての必要な経済が満たされるようさらにご支援のほど、よろしく願い致します。また私共の既存の孤児院のほうも覚えてくださり、どうかこれからも皆さまの御支援、サポート、どうかよろしく願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、感謝申し上げます。3月は各学校に於いて前期の進級試験があり、また9年生（中学3年）の受験生5人と12年生（高校3年）の5人は全国統一試験を受験するようになっています。特に12年生の高校卒業試験は一昨年から非常に厳しくなり、学校では12年生を対象に空いた午後の時間帯に補習が行なわれるようになりました。皆様に、よい結果をご報告出来ますようにと祈り願



っています。円安の傾向は、日本の事務局から送金して頂く毎月の運営費に大きく影響しています。毎月の運営の為の必要が満たされ続けますように、また4月はカンボジアの新年を迎える月ですので、子どもたちが孤児院で新年を楽しく迎え過ごせますように、その為のすべての必要が満たされますようにと祈り願っています。皆様のご支援に心から感謝すると共にこれからも継続したご支援とご協力をどうぞよろしく申し上げます。

自分たちで、何でもやってみる子供たち！

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

皆様の尊いご支援をいつもありがとうございます。

フィリピンの子どもたちのために、皆様のご支援を心から感謝致します。2014年末から学校活動費など予定外の支出が多くあり、プレッシャーを感じていました。そして2015年に入って卒業生のためにもいろいろな必要が生じ、さらにプレッシャーが強まりました。東京事務局に連絡してから、2週間ぶりにEメールをチェックした時、事務局から「必要額が満たされた！」という連絡が来ていました。

子どもたちもスタッフもどんなに嬉しかったか、とても言葉では表せません。ご



寄付を心から感謝致します。フィリピンで子どもたちに対する働きを始めてから約20年になります。皆様のご支援なしにこの働きを続けて行くことは出来ません。本当にありがとうございます。さらに引き続き皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

パーティーを楽しむ子どもたち！

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ（お元気ですか）？皆様の日頃のご支援に心から感謝申し上げます。

フィデリスとテリースはついにこの1月から高校3年生になりました！

フィデリスは、毎日とても熱心に勉強に取り組んでいます。学校でも副生徒会長に選ばれました。本人は、今後法律を学ぶために大学への進学を希望しています。高校3年を卒業して高学歴と言われるザンビアですが、それでも子女は、メイドしか職がないという現状もあります。今後、真に貧困から抜け出し、自らの足で立っていくためには、短大、大学で、専門技術や知識を習得していくことが



学校の給食をほお張る子どもたち！

大切だと考えています。また、皆様のご支援に支えられて、孤児院の井戸の掘削費用が満たされました。心から感謝申し上げます。早速、掘削会社を呼び、調べたところ、相当掘り下げる必要があることが判りました。そしてその頃から、ずいぶん遅れて集中的な雨が降るようになり、現在、雨が終わる3～4月末頃まで、井戸の掘削は見合わせている状態です。今後、進展があり次第、報告させていただきます。

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様の尊いご支援とサポートをいつもありがとうございます。

サマータイムも終わり、ぐっと涼しい日々が多くなりました。先月ご紹介したアンジェリカさんがいろいろな方々に話をしてくださり、社会福祉士や法律をよくご存じの方などが、グアララペスの児童養護施設建設予定地を訪問してください



働きを手伝ってくださっている
アンジェリカさん(左から3番目)

ました。また、彼女によると、2009年8月3日付で法律が大幅に変わり、アプリゴ(ポルトガル語での児童養護施設、直訳はシェルター)に子供が滞在できるのは2年までとなりました。そのブラジルの現状の中で、保護の必要な子供たちと、里親を願っている家族との橋渡しの働きも担っていきたいです。さらに彼女から最新の情報をいただきつつ、私たちにどのような働きができるかを探っていきたいと思います。

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>